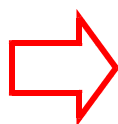
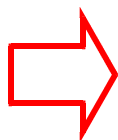
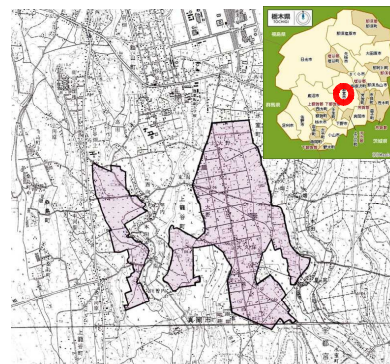


県営畑地帯総合土地改良事業 清原南部地区（平成20年3月完成）

1. 事業概要

本地区は、宇都宮市の東部に位置し、一級河川鬼怒川の左岸の台地を開けた畑地帯である。本事業は、清原南部地区の農地197haについて、圃場整備を行うものである。

事業名	県営畑地帯総合土地改良事業		
事業主体	栃木県		
事業箇所	宇都宮市上箒谷町、氷室町		
受益面積	197ha		
受益者数	282人		
整備内容	整地工	197ha	用水施設41.2km
	道路工	5.4km	
総事業費	25.9億円		
事業期間	平成2年度～平成19年度		



2. 事業の目的・必要性

本地区の農地は区画が狭く不整形であるとともに道路は狭小で屈曲しており、効率的な営農が困難な状況にあった。また、用水源は地下水に依存しているが揚水施設の老朽化により、畑では天水に頼っている状況であった。

このため、栃木県では、大型機械の導入による労力節減、畑作物振興による都市近郊農業の確立と農業経営の安定化を図ることを目的に、畑地帯総合土地改良事業により、パイプラインで各圃場への導水を安定させ、併せて区画整理と農道整備を行った。

3. 事業の整備効果等

(1) 事業費等の変化

項目	事業採択時	事業完成時	増減
受益面積	223ha	197ha	△26ha
総事業費	18.4億円	25.9億円	7.5億円
工期	H2~H9	H2~H19	

受益面積については、26haの減となったが、用水の管路配置及び道路配置の設計見直しにより事業費の増となった。
関係事業（国道・県道）との調整、文化財発掘調査により工期が10年伸びた。

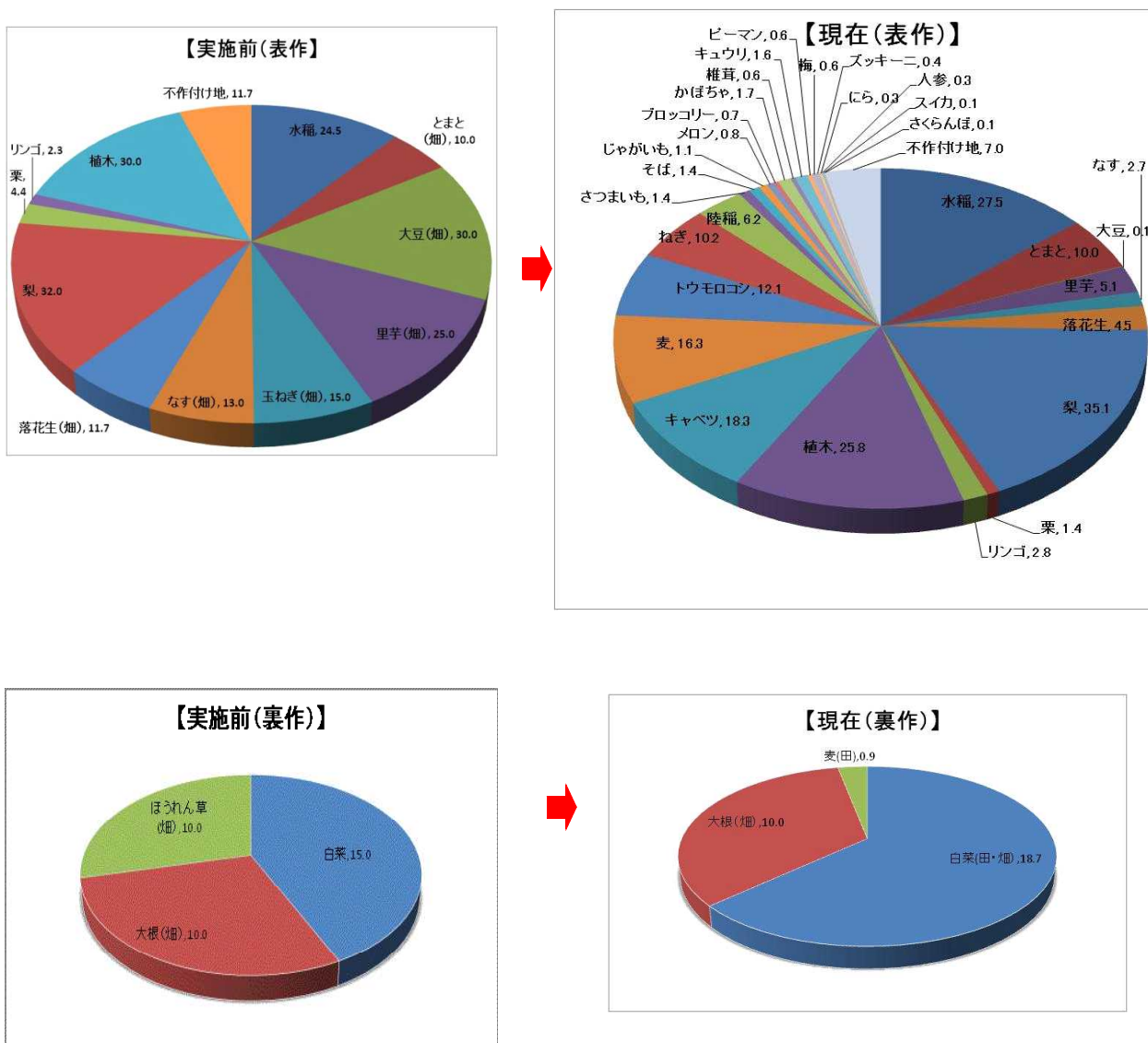
(2) 農地の高度利用

◆農作物の作付け状況

用水の安定供給や農道の整備等、作物の栽培条件が改善されたことにより、麦やキャベツ、トマトなどが栽培されている。また、果樹の梨やリンゴなども栽培されている。これらは首都圏を中心に出荷されている。

○耕地利用率 [実施前] 111% ⇨ [現在] 112%

○作物作付状況（単位：ha）

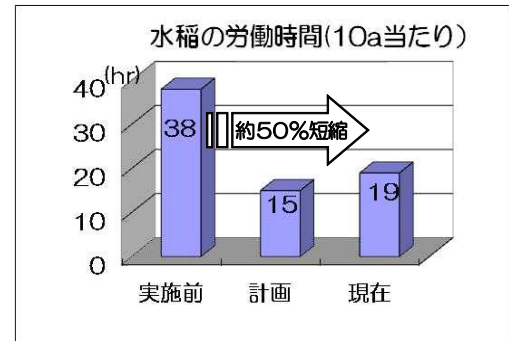




(3) 営農の効率化

① 農作業に係る労働時間の短縮

農地の大区画化等により、大型機械の導入が可能となり、労働時間が水稲で約50%短縮されている。

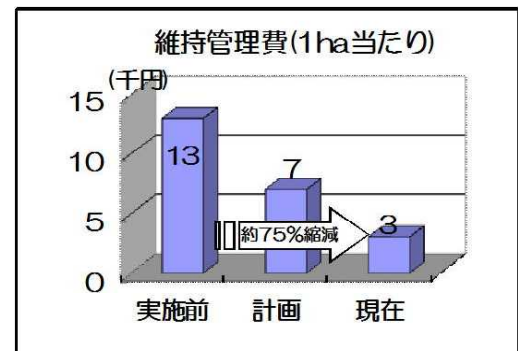


(担い手農家からの聞き取り)

② 維持管理の軽減

農地・水活動組織との連携により、用水施設や農道の維持管理費が年間約75%軽減されている。

維持管理費：13千円/ha/年間（実施前）
↓
3千円/ha/年間（現在）



(清原南部土地改良区聞き取り)

(4) 担い手の確保育成

安定した用水が確保され、併せて区画や農道が整備され営農条件が改善されたことにより、担い手が着実に増加している。また、近年、企業の農業参入が進み、農地の有効利用が図られている。

	[整備前]	→ 増	[現在]
認定農業者数 (人)	1 人		60 人 (本地区を含めた清原地区)
地区内進出企業数 (社)	0 社		3 社

4. 事業により整備された施設の管理状況

整備された農業施設は、清原南部土地改良区により適正に管理されている。

農道（舗装道路）は宇都宮市が管理するとともに、農地・水活動組織と連携して砂利敷等の維持管理を行っている。

5. 事業実施による環境の変化

農道が整備されたことにより、圃場から直接出荷することが可能になった。また、国道408号道路用地として非農用地を8.7ha創設し、地域農業生産環境の発展に寄与している。その他、改良区を中心に「清原南部明るいむらづくり推進協議会」を立ち上げ、食の祭典等、

都市と農村の交流に地域住民が一体となって取り組んでいる。近年は、イオンアグリ創造(株)、(株)育くんファームや日清ファーム(株)などの企業の農業参入が進み、キャベツ、ネギ等の生産が行われ、農地の有効利用や地域の雇用に貢献している。



企業参入



国道408号線



都市農村交流

6. 社会経済情勢の変化

特になし

7. 今後の課題等

①事業実施により担い手の確保育成が図られ、改良区を中心に地域活性化の取り組みも盛んに行われている。今後は、都市住民との交流の拡大が期待されている。

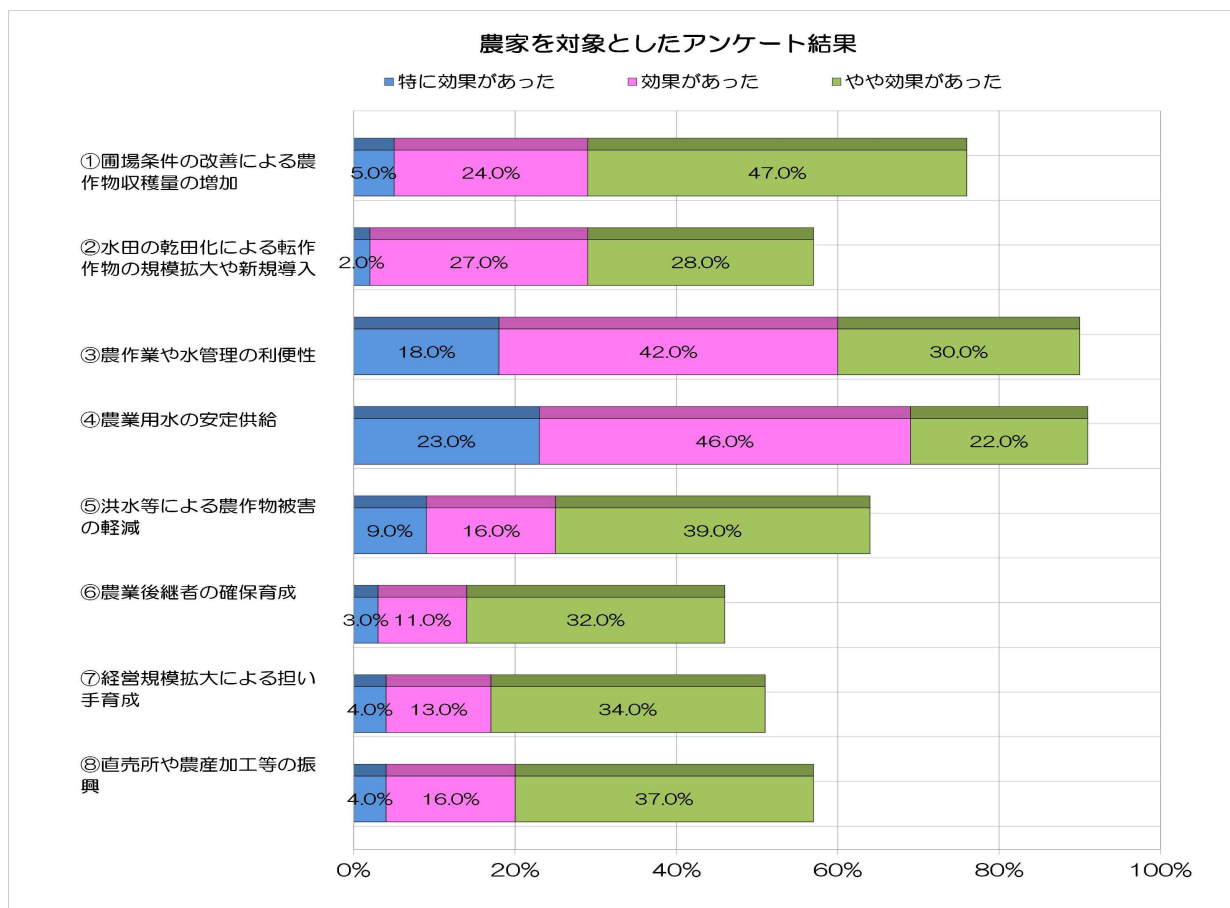
◆ [参考：アンケート調査結果について]

本地区内の農家、非農家を対象に事業実施に対する効果の発現状況について調査を行った。
(配布戸数 240戸 回答 203戸 回答率 85% H25.6実施)

[アンケート結果での地域住民の事業に対する評価]

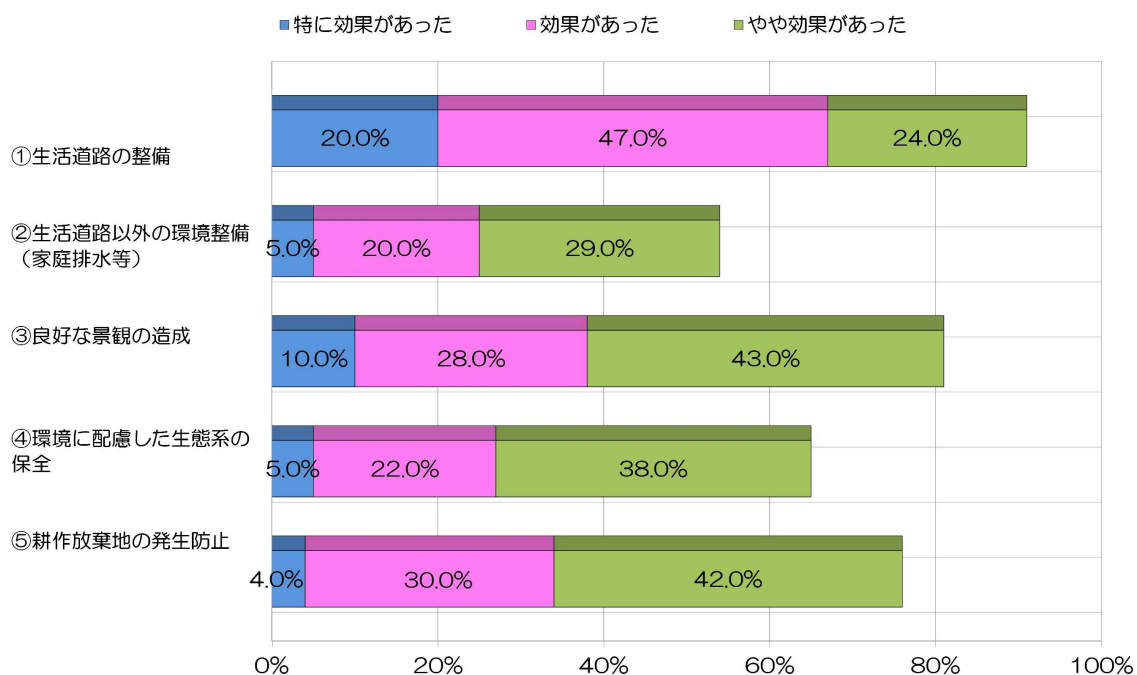
農家からは特に圃場条件の改善による農作物収穫量の増加、農作業や水管理の利便性、農業用水の安定確保を得ている。また、生活環境全般について高評価を得ている。

①農家を対象としたアンケート結果



②農家・非農家を対象としたアンケート結果

農家・非農家を対象としたアンケート結果



③主な意見

【農家】

- ・農地が自宅の近くにまとまった。
- ・道路が整備された。農業用水が十分に確保された。
- ・土地の賃借がスムーズに出来るようになりました。
- ・交通量が増えた。
- ・最近は大雨が多いので、排水溝を追加してほしい。

【非農家】

- ・道が整備されたので通りがよくなりました。
- ・雨が降ると水たまりができ宅地の出入りが不便。
- ・ダンプカーが通るととてもゆれるので道の段差を調整して欲しい。

栃木県 農政部 農地整備課

TEL : 028-623-2364 FAX : 028-623-2378

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/honchou/honchou/1182500312842.html>

E-mail : noch-seibi@pref.tochigi.lg.jp

